

平成 23 年 度



学 校 要 覧



校 歌

芳賀秀次郎 作詞
斉藤 次郎 作曲

一、夜明けの風が呼んでいる

雲の光が呼んでいる

さくらの匂う

丘の上に

心ひとつに

学ぶわれら

ゆきわり草の花のように

風にも雪にも耐えて進もう

二、みどりの山が呼んでいる

遠い希望が呼んでいる

すすきのゆれる

丘の上に

力あわせて

学ぶわれら

ゆきわり草の花のように

光を求めてともに進もう

山形県立ゆきわり養護学校

(肢体不自由特別支援学校)

〒999-3145 山形県上市河崎三丁目7番1号

TEL (023)673-5023(職員室)

(023)673-3641(事務室)

(023)673-3610(寄宿舎職員室)

FAX (023)673-3608

ホームページ <http://www.yukiwari-sh.ed.jp>

mail : yyukiwariyo@pref-yamagata.ed.jp

沿 革

- 昭和34.12.1 県立肢体不自由児施設として、ゆきわり整肢学園開設
 34.12.26 山形市立蔵王二小、蔵王一中の分校として発足
 39. 4. 1 山形県立山形養護学校設立（本校：山形市漆山）
 39. 6. 1 ゆきわり分校開校式（山形市蔵王半郷）
 49. 4. 1 山形県立上山養護学校（同ゆきわり分校）と校名変更
 57. 4. 1 山形県立ゆきわり養護学校独立発足 幼稚部設置
 62. 4. 1 山形県立ゆきわり養護学校に上山養護学校統合 幼小中高一貫教育を開始
 平成 3.10 東北地区肢体不自由教育研究協議会
 4. 7. 1 創立10周年
 6. 4. 1 高等部に重複障がい学級設置
 9.10 東北地区肢体不自由教育研究協議会
 11. 1.29 新校舎完成
 11. 4. 1 幼・小・中・高・寄宿舎が同一校舎で学習、生活を開始
 11.10.22 新校舎落成式
 13.11 全国肢体不自由教育研究協議会
 14. 7. 1 創立20周年
 15. 6 看護師（非常勤嘱託職員）による医療的ケアの実施
 15. 6.12 東北・北海道地区肢体不自由養護学校長PTA会長合同研究協議会
 16. 3 スクールバス更新
 16. 4. 1 2学期制実施 コーディネーター3名の創出
 16.12. グラウンドに、築山、遊歩道、遊具設置
 19. 2. 2 教員による医療的ケアの実施
 19. 6.30 優良PTA山形県教育委員会表彰
 19.11. 1 看護師2名配置による医療的ケアの実施
 19.11.21 優良PTA文部科学大臣表彰
 21. 9 東北地区肢体不自由教育研究大会
 21.10 全日本特別支援教育研究連盟全国大会第4分科会会場
 22. 4 3学期制実施
 高等部重複障がい学級増設
 看護師3名配置による医療的ケアの実施
 22. 8.21~22 第53回 全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会及びPTA・校長会
 合同研究大会「山形大会」開催

学校のデータ

1 教職員数

職名	教 育 職 員									行政職員並びに技能職員									合 計	
	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	講 師	実 習 教 諭	実 習 講 師	及 び 主 任 寄 宿 舎 指 導 員	計	事 務 部 長	事 務 部 次 長	主 査	主 事	栄 養 士	技 能 長	学 校 技 能 員	調 理 師	介 助 員		計
男	1	1	20	0	2	0	0	3	27	1	1	0	1	0	0	3	1	0	7	34
女	0	1	63	2	5	1	1	11	84	0	0	1	0	1	1	0	1	3	7	91
計	1	2	83	2	7	1	1	14	111	1	1	1	1	1	3	2	3	14	125	

- ・学 校 医…5（内科…1 眼科…1 耳鼻科…1 精神科…1 整形外科…1）
- ・学校歯科医…1
- ・学校薬剤師…1
- ・非常勤嘱託職員…13（学校技能員…1 環境整備業務員…1 調理師…1 介助員…1 寄宿舎指導員…4 看護師…3 警備員…2）
- ・日々雇用職員…4

2 幼児児童生徒数並びに学級数

(4月1日現在)

学部	幼稚園部				小学部								中学部					高等部					合計		
学年等	3歳	4歳	5歳	計	1	2	3	4	5	6	重複	ベッド	計	1	2	3	重複	ベッド	計	1	2	3		重複	計
男	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	29	0	31	3	1	4	14	0	22	1	1	2	16	20	74
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1	17	0	1	1	8	1	11	0	0	0	17	17	45
計	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	45	1	48	3	2	5	22	1	33	1	1	2	33	37	119
学級数	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	15	1	18	1	1	1	8	1	12	1	1	1	11	14	45

3 通学状況

学部		幼稚園部	小学部	中学部	高等部	合計	
寄宿舎	男	0	1	6	3	10	17
	女	0	0	2	5	7	
通学	男	0	24	11	13	48	72
	女	0	12	4	8	24	
総合療育訓練センター	男	1	6	5	4	16	30
	女	0	5	5	4	14	

4 出身地別幼児児童生徒数

	幼稚園部	小学部	中学部	高等部	合計
村山	1	34	22	28	85
最上	0	0	3	2	5
置賜	0	14	7	6	27
庄内	0	0	1	1	2

5 高等部卒業時の進路状況

卒業年度	卒業生数	就職者数	進学者数	施設等入所者数	作業所等	その他
平成18	7	0	0	1	2	4
平成19	16	0	2	1	8	5
平成20	16	0	2	1	10	3
平成21	8	0	2	1	5	0
平成22	12	0	0	1	10	1

平成23年度県立ゆきわり養護学校の経営

I めざす学校の像

私達は、ゆきわり養護学校を、次のような学校にしたいと考えています。

- 1 子どもにとって：「早く行きたくなる学校」＝楽しい学校
◎ 分かりやすい学校生活のある学校
- 2 保護者にとって：「入れて良かった学校」＝信頼される学校
◎ 安心してまかせられる学校
- 3 地域にとって：「ここに在って良かった学校」＝センターとしての学校
◎ 地域から頼りにされる学校

II 本校の教育目標

私達は、法令等に示されている教育の理念、目的等や、山形県における本校設置の意義、本校に学ぶ子どもの実態、これまでの本校の教育実践の継承等から、「伝える」をキーワードとし、平成23年度の本校の教育目標を次のようにしました。

伝えることができる人を育てる

上記の目標を達成するために、私達は、学校生活全体をとおして、

卒業後の生活の様々な場面で、一人一人が、自分の考えや気持ち、選択等を、
自分のできる方法で、相手に伝えることができる力

を育てていきたいと考えました。

III 基本的な姿勢

私達が、本校に勤務する者として持つべき共通の心構えを、

子ども一人一人の生命に畏敬の念をもち、ていねいな指導を

とし、併せて、私達が身につけなければならない力を、

ゆきわり力＝子どもの見えにくい成長を発見できる教育力

として、今年度も研修の充実を図っていくこととしました。

Ⅳ 経営の重点

私達は、Iに掲げた学校の像を実現するために、今年度、以下の点に重点的に取り組みます。

1 「楽しい学校」にするために

- ・各学期の季節や行事を中心に、長期休業を区切りとし、子どもが分かりやすく見通しをもちやすい3学期制の学校生活づくりを進めます。
- ・縦割り集団による全校活動、子どもの実態やこれまでの生活経験に応じた校外学習や交流活動等を計画・実施し、体験活動の充実を図ります。
- ・個別の指導計画を活用して、常に指導を振り返りながら、子ども一人一人のねらいが達成できる内容・方法を工夫するとともに、授業研究会、研修会等を計画的に行い授業の改善と指導力の向上に努めます。

2 「信頼される学校」にするために

- ・ヒヤリハット等の事例の集積を行い、事故の未然防止に努めるとともに、子ども理解研修会、校内教育相談の充実、関係者との健康に関する確実な情報交換を行い、安心できる学校づくりに努めます。
- ・災害時の対応策や緊急時の対応マニュアルを実行の視点から見直し、安全な学校づくりに努めます。
- ・学校評価の結果を公開し、学校経営の改善に努めます。また、学校ホームページや学校だよりをより魅力あるものにするよう努めます。
- ・福祉、労働、医療、教育等関係機関からの情報収集に努め、研修会等をとおしてより多くの情報を保護者へ提供し、進路支援の充実を図ります。
- ・子どもの障がいの理解、学習指導、緊急対応等子どもの学校生活に関わる研修を充実し、肢体不自由教育、重複障がい教育についての専門性の向上を図ります。

3 「センターとしての学校」にするために

- ・授業研究会、研修会等を積極的に公開し、本校の教育や肢体不自由教育についての情報発信と本校職員の得意分野の公開に努め、特別支援学校や特別支援学級とのネットワーク作りに努めます。
- ・上山市を中心とする幼稚園、小中学校等からの要望に応じた適切な支援を行うことで、本校の持つ特別支援教育についての専門性を地域に提供します。
- ・本校職員の知識、技能、経験を活用し、肢体不自由に限定しない教育相談に日常的に応じます。

4 その他

- ・校務用PCの活用により校務処理の効率化を図り、授業に関する時間の確保に努めます。
- ・「特色ある特別支援学校づくり事業」の一環として「ゆきわりのうた」制作を行い、来年度の創立30周年に向けた準備を進めます。

V 各学部・寄宿舎の経営

<幼稚園の教育目標>

誘い掛けに応じて、教師や友達に、自分の気持ちを伝えることができる。

(そのために、私達は)

- ・生活の中で、子どもがいろいろなことを感じて心を動かせるようにかかわっていきます。
- ・教師や友だちとのかかわりの中で、楽しいやりとりをたくさん経験できるようにします。

<小学部の教育目標>

自分ができる方法で、教師や友達に、自分の考えや気持ちを伝えることができる。

(そのために、私達は)

- ・学級やグループでの活動の中で、子ども一人一人の課題や目標を踏まえた、きめ細かな指導を行っていきます。
- ・授業を通して、十分にかかわり合いをもちながら、子どもの伝えたい、表したいという気持ちを引き出します。
- ・子どもの思いや気持ちを受け止め、子どもの思いに添ったやりとりを大切にします。
- ・校外学習や地域の学校との交流及び共同学習等を通して、人とのかかわりや生活経験を広げます。

<中学部の教育目標>

自分から進んで、周囲の人に、自分の考えや要求を伝えることができる。

(そのために、私達は)

- ・子どもの実態や教育的ニーズに応じて、学級や学年を超えた学習グループを編成し、様々な教師や友だちとのかかわりを広げていきます。
- ・一人一人の子どもにとって楽しく分かる授業づくりに努め、考えや要求を伝えたいという意欲を高めます。
- ・生活の中でのやりとりを通して、相手に分かりやすい表現のしかたを学ぶことができるようにします。
- ・様々な体験活動や校外学習等を充実させて、生活経験を広げ、人とかかわる力を育てます。

<高等部の教育目標>

相手の気持ちを考えながら、誰にでも、自分の考えや願いを伝えることができる。

(そのために、私達は)

- ・子ども一人一人の教育的ニーズに応じて多様な学習グループを編成することにより、様々な友だちや教師とのかかわりを広げていきます。
- ・日々の授業の中で、自分の気持ちを表現するとともに、相手の気持ちを受け入れようとする態度を養っていきます。
- ・よりよく人とかかわるために、適正な自己理解と人に対する感謝の心を育てます。
- ・校外学習、職場見学や就業体験を充実させ、学校で培った力を、そのほかの場でも発揮できるようにします。

<寄宿舎の教育目標>

様々な方法で、周囲の人に、自分の気持ちや要求を伝えることができる。

(そのために、私達は)

- ・生活の場として、温かい雰囲気をつくり、舎生が生活に潤いと安らぎを感じられるよう努めます。
- ・舎生一人一人の実態をよく理解し、舎生が要求を伝え、適切な支援を受けることができるようにします。
- ・舎生の実態に応じた言葉かけや支援を心がけ、周りの人とのかかわり、自分の気持ちを上手に表現できるようにします。

教育課程

教育目標を具現化するために、一人一人の教育的ニーズに応じた弾力的な教育課程の編成を実施します。

<平成23年度教育課程>

- (1) 一人一人の教育的ニーズを、保護者や本人の意向を踏まえて把握します。
- (2) 教育課題より指導目標を設定し、一人一人の教育課程、時間割を作成します。
- (3) 作成した案を学年や学習グループで検討します。さらに学部全体で検討します。
- (4) 授業を行う学習グループごとに時間割を作成し、指導します。
- (5) 学級ごとに、1～2週間分の時間割を家庭に配付します。
- (6) 各学級における各教科等の時数の調整と実施時数記録は、学級担任が行います。
- (7) 単元後または学期ごとに評価し、指導の改善を図り、学力の定着をめざします。
- (8) 学期ごとに通知票を配付し、保護者と連携しながら、さらなる育成に努めます。

※登校時刻 幼小学部：8時50分 中・高等部：8時40分

※1単位時間 幼小学部：45分 中・高等部：50分

※年間授業日数 204日（中高卒業学年203日）
（幼 194日・小 203日 小卒業学年202日）

<時間割表の一例>

小学部3年 Aさん

	月	火	水	木	金
1	自立活動	国語	算数	国語	理科 音楽
2	国語	算数	書写 図書	算数	算数
3	理科	道徳	音楽	自立活動	総合的な学習の時間
4	算数	体育	社会	学級活動	国語
5	国語	総合的な学習の時間	国語	図工	社会
6		理科		図工 音楽	

小学部4年 Bさん

	月	火	水	木	金
1	自立活動（朝の会）				
2	自立活動 （おはなし あそび）	（個別の 学習）	（あそび）	（あそび）	（おはなし あそび）
3	自立活動 （おんがく あそび）	（そうさく あそび）	（おんがく あそび）	（うんどう あそび）	
4	自立活動（からだ）				
5	自立活動（給食）				
6		遊びの 指導		遊びの 指導	

中学部1年 Cさん

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	音楽	数学	保健 体育	音楽	保健 体育
3	国語	生活単元学習			
4	数学				
5	日常生活の指導(給食)				
6	自立 活動	国語	数学	国語	自立 活動

中学部2年 Dさん

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動(身体の動き)				
3	日常生活の指導(水分補給など)				
4	自立活動(合同あそび)				音楽
5	日常生活の指導(給食、歯磨きなど)				
6	自立活動(学級合同/個別学習)				

高等部1年 Eさん

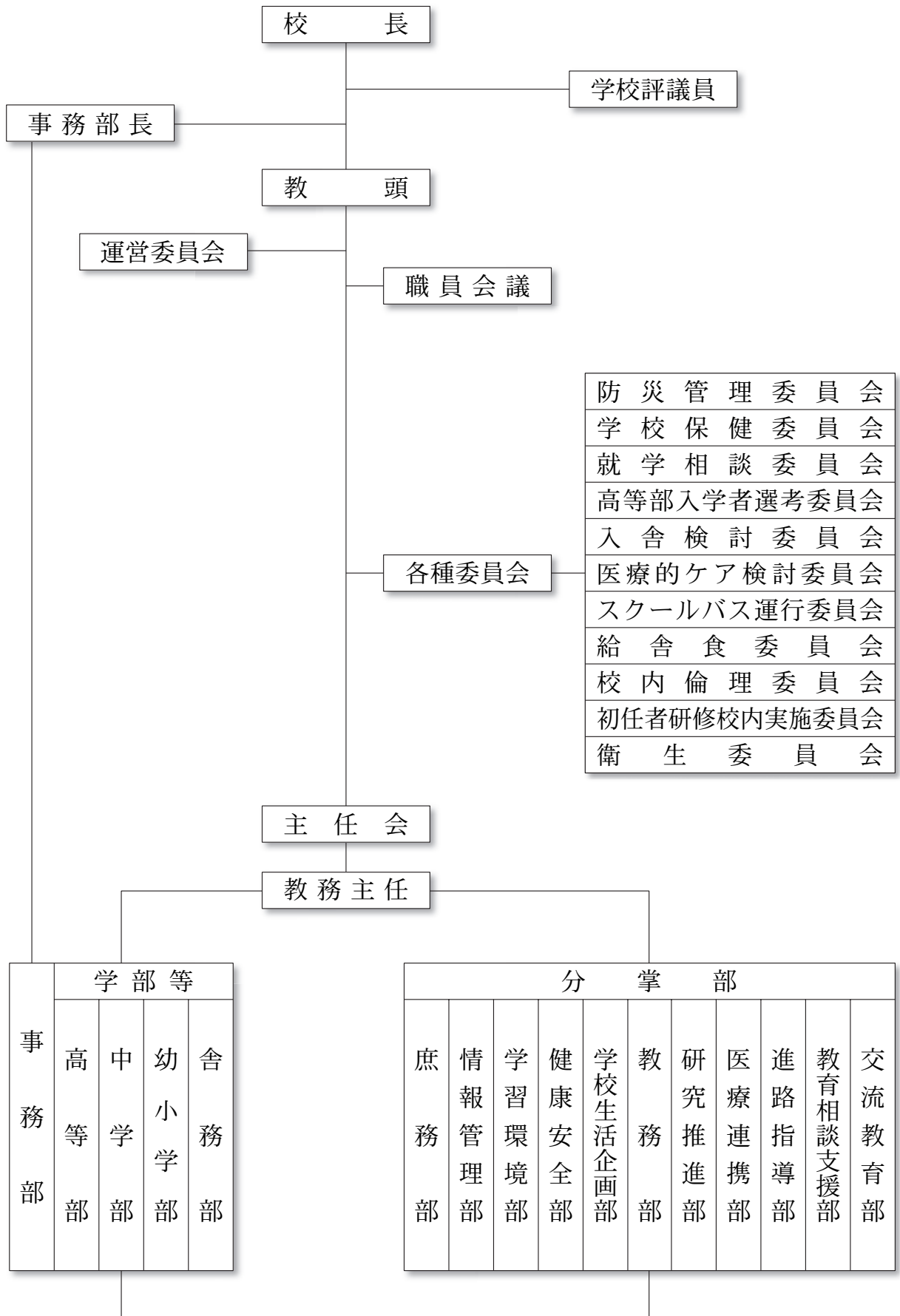
	月	火	水	木	金
1	数学Ⅰ	自立 活動	国語 総合	現代 社会	国語 総合
2	保健	家庭 基礎	英語Ⅰ	オーラル Ⅰ	数学Ⅰ
3	理科 総合A	家庭 基礎	現代 社会	国語 総合	英語Ⅰ
4	オーラル Ⅰ	国語 総合	美術Ⅰ	数学Ⅰ	自立 活動
5	情報A	HR	情報A	理科 総合A	産業 社会と 人間
6	自立 活動	体育		体育	

高等部3年 Fさん

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導 / 自立活動				
2	体育	数学	数学	国語	国語
3	生活 単元 学習	作業学習			生活 単元 学習
4					
5	音楽	HR	自立 活動	体育	総合的 な学習 の時間
6		情報		情報	

運 營 組 織

校務運營組織



各種委員会の業務と構成

防災管理委員会	
主な業務内容	防災管理及び非常災害対策に関すること
構 成 員	校長（委員長）、事務部長、教頭（防火管理者）、健康安全部長、健康安全部防災係、教務主任、副教務主任、寮務主任、学部主任（企画：健康安全部長(防災係)）

学校保健委員会	
主な業務内容	学校保健についての研究協議、連絡調整
構 成 員	校長、事務部長、教頭、教務主任、保健主事、学部主任、寮務主任、健康安全部長、医療連携部長、寄宿舎代表、養護教諭、栄養士、学校医、学校薬剤師、県立総合療育訓練センター職員、保護者代表（企画：保健主事）

就学相談委員会	
主な業務内容	転入学児童生徒の所属学級等の判断、転学に係る検討、幼稚部入学に関する判断等
構 成 員	校長、教頭、県就学指導委員会調査員（教育相談支援部）、教務主任、副教務主任、学部主任、医療連携部長（企画：教育相談支援部長）

高等部入学者選考委員会	
主な業務内容	高等部入学者選考に関すること
構 成 員	校長、事務部長、教頭、教務主任、高等部主任、高等部教員代表、教育相談支援部長（企画：高等部主任）

入舎検討委員会	
主な業務内容	寄宿舎への入舎に関すること
構 成 員	校長、事務部長、教頭、教務主任、寮務主任、寄宿舎主任、寄宿舎副主任、教育相談支援部長、養護教諭、必要に応じ学部主任、学級担任（企画：寮務主任）

医療的ケア検討委員会（校内）	
主な業務内容	県教育委員会の実施要綱に規定された医療的ケアに関すること
構 成 員	校長、事務部長、学校医、教頭、教務主任、学部主任、医療連携部長、教育相談支援部長、保健主事、養護教諭、看護師、医療連携部担当（企画：医療連携部長）

スクールバス運行委員会	
主な業務内容	スクールバスの運行に関すること、スクールバスの更新に関すること
構 成 員	委員長、校長、事務部長、教頭、教務主任、副委員長（小・中から各1）、学部主任、学校技能員、養護教諭、介助員（企画：委員長）

給舎食委員会	
主な業務内容	学校給食、寄宿舎食に関すること
構 成 員	委員長（健康安全部副部長）、栄養士、調理師、健康安全部長、寄宿舎健康安全部長、健康安全部給食係、寄宿舎健康安全部員（企画：委員長）

校内倫理委員会	
主な業務内容	教育に携わる者としての職業倫理の再確認、職場環境の再点検、具体的な対策・取組の推進
構 成 員	委員長、全教職員（企画：委員長）

初任者研修校内実施委員会	
主な業務内容	校内における初任者研修の円滑な実施に関すること
構 成 員	委員長、校長、教頭、教務主任、幼小部学部主任、中学部主任、校内指導教員、拠点校指導教員（企画：委員長）

衛生委員会	
主な業務内容	職員の健康に関すること、労働災害の防止と学校内外の衛生に関すること
構 成 員	産業医、衛生管理者、養護教諭、校長が指名した者（各学部代表、舎務部代表、事務部代表）（企画：衛生管理者）

平成23年度センター的機能 ゆきわり養護学校の取り組み

今年度、本校では、次のような事業を予定しています。
各事業についての詳細は担当までお問い合わせいただくか、本校ホームページ
(<http://www.yukiwari-sh.ed.jp>) をご覧ください。

😊 幼稚園・保育園・小・中・高等学校などへの支援

- ◇ 障がいのあるお子さんの指導法について相談したい
- ◇ ちょっと気になるお子さんについて相談したい
- ◇ 特別支援教育に関する研修会の講師を依頼したい
- ◇ 発達検査などの各種検査を依頼したい…等

→ お気軽に連絡ください。

依頼のあった幼稚園・保育園・学校に訪問し、先生方と一緒に指導法、支援法等を考えます。

担当：特別支援教育コーディネーター 石山 里恵

😊 教育相談

保護者の方、教職員の方などを対象に、

- ◇ お子さんの手や足の動きが不安なとき
- ◇ お子さんの発達や障がいに応じた教育や進路について相談したいとき
- ◇ 肢体不自由に関して知りたいとき
- ◇ 本校を見学したいとき

→ 教育相談を受け付けております。

担当：教育相談支援部 木村 泰代

😊 研修事業

◎肢体不自由児に対する指導に役立つ研修会を、随時実施しています。

☆ゆきわりカステップアップセミナー

I (仮) 学習指導要領と評価について

5月18日(水)

II 自立活動・摂食指導 夏期休業中

III (仮) 発達障害について 1月

担当：学習環境部 横山 千絵

😊 研究事業

◎教職員の指導力向上をめざし研究活動をしています。

☆授業研究会Ⅰ 6月22日(水)

☆授業研究会Ⅱ 7月5日(火)

☆授業研究会Ⅲ 7月13日(水)

☆授業研究会Ⅳ 12月1日(木)

担当：研究推進部 五十嵐隆夫

😊 学校の公開

☆ゆきわり学校公開 5月18日(水)

幼児児童生徒、保護者、学校関係者、関係機関担当者、地域の皆様等本校を見てみたいという方々に、学校を公開します。

授業公開、研修会、個別相談予定。

担当：特別支援教育コーディネーター 石山 里恵

☆体験学習会

1回目 6月9日(木)～6月15日(水)

2回目 9月5日(月)～9月9日(金)

学校見学や、本校の子ども達と一緒に活動を体験していただきたいと思っています。

担当：教育相談支援部 佐藤 一三

お問い合わせ・連絡先

〒999-3145

上山市河崎三丁目7番1号

TEL 023-673-5023

FAX 023-673-3608

mail:yyukiwariyo@pref-yamagata.ed.jp

学校案内図

